

後 序

2000年3月3日、岡道男先生が逝去された。先生はご病気を多くの人に明かしてはおられなかったので、お見舞いも出来ず、せめて何か書かせてほしいという声が幾つか寄せられ、自ずから追悼文集を編む気運が生じた。折しも、姫路獨協大学秋期公開講座における先生のご講演が3月末に活字になって現れたので、先生と親交のあった方々にお送りし、併せて小川正廣・高橋宏幸・中務哲郎が発起人となり追悼文集への寄稿を呼びかけた。先生は講演をなさる時には原稿を用意し、後にそれが活字にならぬ場合には、原稿のコピーを我々に配布して下さった。先生の字だとばかり思っていたが、奥様が清書をなさっていたそうである。そのような講演原稿が4篇あるので、それを巻頭に掲げることにした。

寄稿は執筆者の年齢順に配列した。この文集は京都大学西洋古典研究会「西洋古典論集」の別冊の形で刊行するが、今回は内山勝利教授に表紙絵を選定していただいた。講演原稿の入力は川上穰君にお願いし、同君にはまた全体にわたる校正もお手伝いいただいた。追悼文をお寄せ下さった方々、ご協力下さった方々にお礼を申し上げたい。なお、岡道男先生について書かれたものとしては次のものがある。

松本仁助「若い頃の岡道男さん」京都大学西洋古典研究会「西洋古典論集 XI（岡道男教授退官記念号）」1994年3月

小川正廣「岡先生とラテン文学」京都大学西洋古典研究会「西洋古典論集 XI（岡道男教授退官記念号）」1994年3月

中務哲郎「岡道男先生と『キケロー選集』」岩波書店「キケロー選集 6」月報、2000年6月

林 弘士「追悼・岡道男」関西文学会「関西文学」第21巻421号、2000年8月

浅香 正「岡道男教授」古代学協会「古代文化」第52巻第8号、2000年8月

小川正廣「岡道男先生を偲んで」京大以文会「以文」第43号、2000年10月

中務哲郎「岡道男先生の逝去を悼む」日本西洋古典学会「西洋古典学研究 49」2001年3月

(中務 識)